4月16日（木）二限　二年古典講読

『百人一首』「春の歌」①

『朧月夜』の読解と鑑賞、どうでしたか。学校が再開したら、前の時間に作った画像を使ってプレゼンをしてもらいます。次のことについて、発表してもらうので心づもりをしておいてください。

①『朧月夜』の歌詞のどんなところがよいと思うか。

②　自分が作った画像は何を表現しようとしているか。

では、今日の授業の指示をします。今日から『百人一首』の勉強をします。和歌は日本独特の文芸です。三十一文字という限られた文字にどれほどの世界が表現されているか体感したいと思います。また、『百人一首』は古典文法の宝庫なので、しっかり勉強して文法事項をマスターしましょう。では、次の課題に取り組んでください。

課題一　次の和歌について、後の問いに答えなさい。

㉝　ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ

問一　作者は誰か。

問二　例に従って、単語に分解し文法的説明を記入しなさい。

固名　格助　ダ下二・用　接助　マ上一・已　接助

例　田子の浦　に　うちいで　て　見れ　ば

枕詞　固名　格助　名　格助　名　係助　ラ四・用　接助

白妙の　富士　の　高嶺　に　雪　は　ふり　つつ

問三　枕詞「ひさかたの」について、

1「枕詞」とは何か。

2「ひさかたの」が導く言葉は何か。

問四　「らむ」は助動詞だが、文法的意味は何か。

問五　助動詞「らむ」に注意して、歌全体を口語訳しなさい。

問六　コメント（感想・批評）を書こう。

課題二　『百人一首』の中から㉝以外の気に入った春の歌を一つ選び、課題一の要領で、作者確認・分解と説明・重要文法の確認・口語訳・コメントを行いなさい。